

進路指導室へようこそ3

前橋女子高校進路指導部

令和7年度 MJ 進路通信 第53号

令和8年3月13日(金)発行

■合格を勝ち取った先輩たちの声（予備校チラシ風）

国公立大前期日程の合格発表がほぼ終了し、先輩たちのうれしい報告が届いてきました。やはり第一志望に合格した瞬間というのはなんとも言えない感動があるもので、うれし涙を流した生徒もたくさんいるようです。見事志望校に合格した先輩たちの声をいくつか紹介します。



・群馬大学医学部合格 Tさん

「志望校に合格できてうれしいです。高1からコツコツ勉強してきた甲斐がありました！」

・東京学芸大学教育学部合格 Kさん

「多くの方に支えられて第1志望校に合格することが出来ました！喜びいっぱいです！」

・長野大学合格 Tさん

「人生で初めて嬉し涙が出ました。受験は全てのことがうまくいくとは限りませんが、最後にはよい方向に転がるものだと思います。」

・群馬大学理工学部合格 Oさん

「前女というレベルの高い環境で勉強についていくのが苦しかったけど諦めずに頑張った良かったです！」

・大阪大学基礎工学部合格 Oさん

「親と泣いて喜びました！高校3年間やってきたことが肯定されている気持ちが出て嬉しいし、とても安心していきます。」

・千葉大学看護学部合格 Tさん

「受験期何回か辛いことがあったけど周りのサポートを借りながら諦めず努力してきた結果が表れて本当に、本当に嬉しいです！！」

・信州大学合格 Sさん

「今まで頑張ってきて、本当によかったです！！大学生活楽しみたいです！！」

・北海道大学合格 Aさん

「まさか私が受かるなんて思いもしなかったけれどコツコツ勉強してきた良かったです！！と心から思います！！！」

・群馬大学共同教育学部合格 Tさん

「嬉しいです！たくさんの人から「おめでとう」「よかったね」と言葉をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。」

・早稲田大学文学部合格 Kさん

「高校に入学した時には考えられなかったような憧れの大学に合格できて、本当に嬉しいです！！」

・筑波大学医学群合格 Tさん

「毎日遅寝早起きで頑張っていたあの楽しくも苦しい日々が、こうして大学進学へと実を結んだ事が嬉しくてたまりません。」

・奈良女子大学合格 Nさん

「自分の受験番号を見つけた時は、嬉しさで思わず涙が溢れました。これまでの努力が実り、応援してくれた方々に良い報告ができて良かったです！」

・高崎経済大学合格 Hさん

「最後まで諦めなくて本当によかったです！ここまで頑張った自分を褒めてあげたいです！また、ずっと憧れていた大学だったのでこれから始まる大学生活がとても楽しみです！！」

なお、今回コメントを寄せてくれた卒業生の方々は、今年度のOGによる後輩支援プロジェクト「TEAM-OG」に早速登録してくれた方たちです。毎年多くの卒業生が、卒業後も後のためにさまざまなバックアップをしてくれるのも本校の大きな特徴です。今年も卒業生たちが続々と登録してくれていますので、後日皆さんに紹介する予定です。

■合格体験談（予告）

18日には今年度の入試で見事第一志望校への合格を勝ち取った卒業生をお招きし、「合格体験談報告会」を開催します。身近でその努力を見てきた先輩たちの経験は、皆さんにとって大きな刺激になるはず。毎年この報告会を聞いて、「来年は自分が合格を勝ち取ってこの場に立ちたい！」と頑張る前女生がたくさんいます。放課後まで残って個別の相談にも応じてくれますので楽しみにしててください（講師の先輩は後日決定します。写真は昨年度の様子）。



■MJ キャリアプラスのまとめを

本校では「MJ キャリアプラス」というプロジェクトを立ち上げ、入試の志願理由書作成や面接でのアピールの材料として、「学校の授業以外で積極的に取り組んだこと」をしっかりと作っておくために、さまざまな活動に挑戦していただくことを訴えてきました。年度末を迎える現時点で、この1年取り組んだ活動をリストアップし、改めて MJ キャリアプラスのファイルに整理しておきましょう。まとめる際には、その活動を通じて「どんなことを思ったのか」「どんなことを学んだのか」までしっかりと考えをまとめることが大事。3年次に志願理由書などを書く際にスムーズに作成することができますし、担任の先生に「推薦書に書いてほしいこと」をしっかりと伝えることができます。時間に余裕がある今のうちにアピールポイントを作っておきましょう。TEAM-OG のクラスルームで卒業生の方たちに、MJ キャリアプラスでの取り組みで受験時に役にたったことを紹介してもらいました。参考にしてみてください。

	進路選択に役立ったキャリアプラスの活動	どのような形で役にたったか
卒業生	英検	調査書に記載してもらった。また、それだけではなく、今後のキャリアにも役立つと思う。
卒業生	職場見学(病院)	実際の医療現場を見て、中身の伴った志願理由書を書けるようになった
卒業生	SSHの研究活動と、サイエンスカフェ	面接で話が盛り上がった、勉強以外で頑張ったこととして志願理由書に書いた
大学1年	大学の先生や卒業生のお話し	私は今薬学部に進学したが、大学選択の際は国家試験の合格率を見るべきだ、とわかった。
卒業生	看護体験	私は医師になりたいと思ったのだが、看護師（または助産師）もいいなと思った時期があった。実際に看護体験に参加してみて、医師と看護師の違いを実感し、医師になりたいという気持ちが強くなった。
大学1年	GUNMA LoveMyself プロジェクト	現代医療にどんな問題があるのが、知ることができた。
大学2年	SSレクチャー	私の記憶に残っているのが、ドラッグデリバリーシステムと、PCRのテーマの時です。薬が目的の場所まで分解されずに届けられる仕組みを自分たちで実験を考えるとところから始めて考察していく、という内容でした。それまでも理系に行くつもりではありましたが、自分で仮説を立てて実験をし、検証する、という一連の流れをより体験的に学ぶ中で、理系って面白いと思うきっかけになりました。
大学1年	SSレクチャー	自分の進路について考えるきっかけになったり、推薦入試で自己アピールとして使えたりした。

■「そんなもの、積分すればマイナスよ！！！！」

一昨年度の共通テスト（数学ⅡB）の問題に、ソメイヨシノの開花日を気温のグラフの定積分を利用して予測する、という問題がありました。

つまり、ソメイヨシノというのは、日々の気温の積み重ねが一定値に達したときに開花する、というもので、気温の積み重ねは上のグラフがつくる面積



（つまり、積分）によって表される、という原理です（1年生は来年勉強してくださいね）。

学習の成果（つまり、桜が咲くか）も、同じ理屈です。日々の学習量の積み重ねが一定値に達したところで初めて成果として現れる（それまでは蕾の状態が長く続く）ものです。逆に、ある一時だけ凄く頑張ったとしても多くの期間でマイナスの努力だったらそれこそ「積分すればマイナス」になる訳です。今のうちにしっかりと努力の貯金をしておきましょうね。ちなみに index での言葉は、進路主事がこよなく愛する数学漫画「数字であそぼ」第7巻にて、恋に溺れて危うく悪い男に騙されそうになった世見子さんの目を一発で覚ませた破壊力のある台詞です。

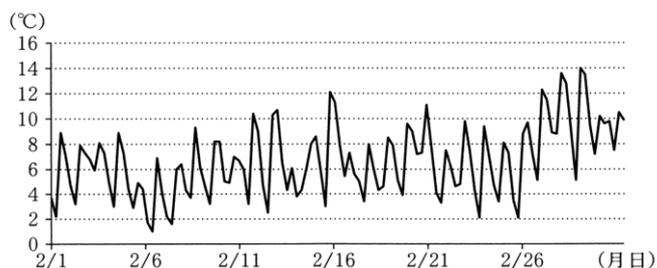


図1 6時間ごとの気温の折れ線グラフ

